



# 船穂中だより

校訓 「自主 自律 実践」

第37号

令和5年11月22日

船穂中学校 HP  
QRコード



## PTA 人権講演会

11月17日(金) PTA 人権講演会では、講師として認定 NPO 法人ヒカリカナタ基金理事長、社会福祉法人岡山ライトハウス理事長などを兼任されている先生にお越しいただき、演題「私の歩んだ道 見えないから見えたもの」と題してお話をいただきました。先生は、幼少期に視力を失うことになってしまった後、ひどいじめを経験し将来を絶望したこともありましたが、しかし、持ち前の負けん気の強さと両親の深い愛情に支えられたこと、教師になるという目標を見つけることができたことから困難を乗り越えられることができたそうです。

「何のために勉強するのか」、その答えは「立派な人になるためだ。」そして、立派な人とは「自分のことを犠牲にしても人のために役立つと思う人のことだ。頭がいいだけの人より優しい人のほうが上だ。」とも言われていました。現在、先生は、視覚障害者の自立を助ける学校をモンゴルとキルギスに創ったり、途上国の目の不自由な子供たちに治療費を送るための「ヒカリカナタ基金」を創られたりしています。講演の最後には、途上国の子の目の手術の様子や包帯がとれて目がみえるようになった時の映像が流れました。目が見えるようになったことで、子どもや保護者に笑顔や涙があふれる感動的なシーンでした。

～ 先生から船穂中学校の皆さんに～

- ① 障害をさらに辛いものにするのは人間社会であることを知ってください。
- ② 人はなぜ勉強をするのか考えてみてください。
- ③ 健康な体に感謝して、それを生かした意義ある人生を送ってください。



## 人権集会

目の見えない方への手びきの仕方(実演の様子)

PTA 人権講演会後には人権集会が行われ、各学級代表からは次のような学級目標が掲げられました。

1年A組代表

「いやなあだ名で呼ばない、人によって態度を変えない、物を投げないとならない、暴力・ことばの暴力をやめよう」

1年B組代表

「嫌なあだ名で呼ばないようにしよう」

2年A組代表

「差別なし、助け合ってみな笑顔 ～その人にはその人の個性がある～」

2年B組代表

「見て見ぬふりやめよう 今のシーン見てたでしょ」

3年A組代表

「Aid2 ～注意する勇気、周りを見る大切さ～」

3年B組代表

「自分から声を掛ける勇気を出そう」

